

## 他県の事例

## CO2フリーの島づくり(鹿児島県・屋久島)

H5年、世界自然遺産登録以降、観光入込数が約2倍(20万→38万)

屋久島町の年間発電量の96.5%(H19)が水力発電である  
などエネルギー面もクリーンな島の特徴に着目

二酸化炭素の発生が実質的に抑制された先進的な地域づくりを！

- ・平成21年度までに行政機関に計21台導入
- ・温暖化防止講演会や電気自動車試乗会を開催

### 22年度新規事業

- 電気自動車導入経費の助成(住民、事業者対象)
- 充電器導入経費の助成(住民、事業者対象)
- 普及促進モニター事業  
休日に公用車を無料貸付(各種団体等対象)
- 電気自動車を利用した観光プラン開発促進

## 県内の事例

# 宮古島市環境モデル都市行動計画(平成21年3月)

## 環境モデル都市とは？

低炭素社会の実現に向けて温室効果ガスの大幅削減などへの取組みを行うモデル都市として、政府が選定した自治体

## CO2削減目標

- 長期(2050年):2003年度比70%削減
- 中期(2020年~2030年):2003年度比30~40%削減

## シナリオの柱

発電対策: サトウキビバガスによる自給自足の電気エネルギー供給

運輸対策: 太陽光・風力発電・エタノールによる自給自足の運輸エネルギー供給

民生対策: 太陽と市民のエネルギーを活用したエコアクション

## 主な取組み

太陽熱給湯・空調システムの普及、家庭でできるエコ活動の普及、公共施設での省エネ事業、景観条例による屋上・壁面緑化の推進、LED照明の導入に対する補助、沖縄型自立循環型住宅(エコハウス)の普及推進、エコツアーの植林と連携事業、CO2フリーエコストアの推進、学会と環境学の連携

宮古島市HPより

# 生物多様性とは？～3つの多様性～

## ●生態系の多様性

干潟    サンゴ礁  
森林    草原  
湿原    河川    など



## ●種(種間)の多様性



地球上の  
推定生物種数  
500万種～  
3000万種  
(IUCN 2008 レッドリスト  
公表時資料による)

## ●種内(遺伝)の多様性

(例)メダカ  
遺伝的に南北日本で  
大きく異なる他、幾つ  
かの地域集団が存在



(例)アサリ  
千差万別な貝殻の色  
や模様は遺伝による  
と考えられている



地域に固有の自然があり、それぞれに特有のいきものがいること  
そして、それぞれがつながっていること



# 生物多様性の恵み～生態系サービス～

## 生物多様性がもたらす恵み～生態系サービス～

### 供給サービス

食糧、水、木材、  
繊維、燃料など



### 調整サービス

気候調整、  
水質浄化など



### 文化的サービス

精神的充足、美的  
楽しみ、レクリエーションの機  
会、教育的効果など



### 基盤サービス

光合成(酸素と有機物  
の生成)、土壌形成  
など



人類生存の基盤

## 生態系サービスから受ける人間の福利

- ・豊かな生活のための基本的物質(食糧、住居、衣料など)
- ・健康(清浄な大気や水、健全な自然環境など)
- ・安全(資源利用の確実性、災害からの安全など)等



## 生物多様性の損失による影響

漁獲減少、水資源不足、水質悪化、自然災害への脆弱性、大気汚染、局地的気候変動、土壌流失

国連「ミレニアム生態系評価」から作成

人類の健康  
で安全な暮  
らしを脅かす



# 生物多様性条約第10回締約国会議の主な成果

- 開催期間：10月18日～29日
- 参加者：締約国179カ国、国際機関、市民団体等  
13,000人以上が参加
- 約350のサイドイベント(過去最大)が開催、「生物多様性交流フェア」などに118,000人が参加



## ・新戦略計画・愛知目標(ポスト2010年目標)

- ・2020年までに生物多様性の損失を止めるため、実効的かつ緊急の行動を起こす、という趣旨。このほか、20の個別目標が合意(陸域17%、海域10%の保護区等)。
- ・遺伝資源へのアクセスと利益配分(ABS: Access and Benefit Sharing)に関する名古屋議定書が採択。
- ・資金動員計画、持続可能な利用、海洋の生物多様性、生物多様性と気候変動等に関し、様々な決定が採択。

# SATOYAMAイニシアティブ

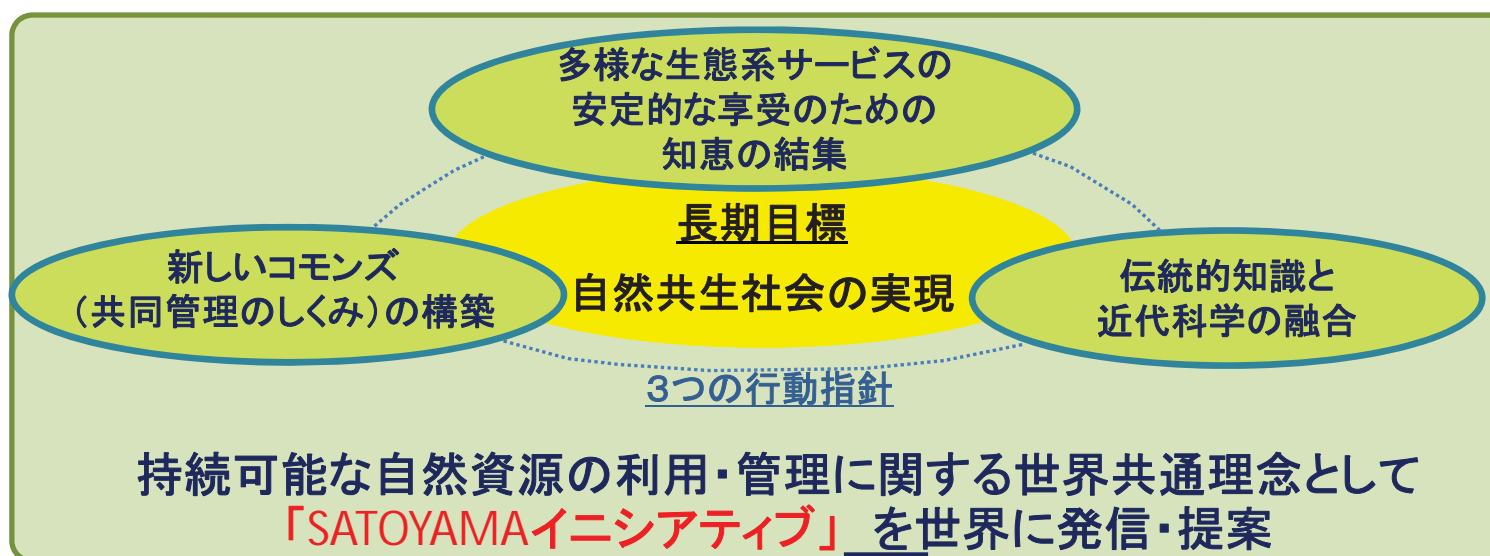
## ■ 背景

- 生物多様性を保全していくには
  - 原生的な地域を保全するだけでなく
  - 「里山」のような人の影響を受けた自然環境の保全も同じく重要
- こうした地域は世界中で見られるが、多くの場所で危機にさらされている。

沖縄も同様の課題を抱えている！



## ■ SATOYAMAイニシアティブの目的と考え方



各地の特性に適合した生物多様性保全と持続可能な利用の推進 + 人間の福利向上

# 生物多様性地域戦略について

## 策定の背景

### 生物多様性基本法(平成20年6月施行)

#### ○第13条第1項

「都道府県及び市町村は、(中略)生物の多様性の保全及び持続可能な利用に関する基本的な計画(生物多様性地域戦略)を定めるよう努めなければならない」

### 生物多様性条約COP9(平成19年5月)

#### 都市・地方政府の参加促進決議

### 生物多様性国家戦略2010

(平成22年3月閣議決定)

#### ○地方公共団体による取組み

地方公共団体が作成する生物多様性戦略は、各地域の自然条件、社会条件に応じた取組みを進める上で重要な役割。

## 生物多様性地域戦略策定の手引き(平成21年9月策定)

### 取組状況(平成22年10月現在)

#### 《策定済み》

北海道、栃木県、埼玉県、千葉県、滋賀県、愛知県、兵庫県、長崎県、流山市、名古屋市、高山市、北九州市

#### 《策定中》

石川県、三重県、大阪府、沖縄県など

\* 沖縄県生物多様性地域戦略(仮称)は平成22~24年度策定予定